

— 連載 —

山県市の 祭りとは 民俗芸能

市内には、先人が築き、大切に守ってきた伝統的な祭りや民俗芸能などの無形民俗文化財が多数継承されています。こうした地域の宝である民俗芸能や行事について、「岐阜県山県市無形民俗文化財調査報告書」から紹介します。

園生涯学習課 Tel.22-6845

06 白山神社例大祭 (高富地域 東深瀬)

- 実施日 4月第1日曜日
- 実施場所 白山神社
- 実施主体 当元は東深瀬の9つの自治会が順番に受け継ぐ



白山神社に神輿が到着

市無形民俗文化財調査報告書は、市内の小中学校、図書館、中央公民館、地区公民館に備えてあります。

準備

(花飾りの製作)

例大祭で氏子に配られる縁起物で、染色した和紙を花として竹に飾りつけて作成します。多くの家庭では、神棚に祀ったり、床の間に飾ります。

(人形の神輿)

お渡りの行列で、たくさんのお花飾りに囲まれた男女一体ずつの人形の神輿が二基巡行します。人形の衣装は、紙で作られており、前年のものを慎重に剥がし、新しい紙で同じ色・大きさに細工して着せ替えます。着せ替えられた男女の人形は、それぞれ神輿の中心に据え、40本の花飾りで囲みます。

次第

当日の朝に御神輿出発式を行い、3つの神輿が東深瀬集落内を練り歩き、白山神社を目指します。

当元の公民館において、家祇禱が行われ、その後白山神社に向けて御渡りが行われます。白山神社に到着後、拜殿にて例大祭が行われます。



マチイロ

まちを好きになるアプリ

プッシュ通知で行政情報をお届け！

スマートフォンやタブレット端末に対応した無料アプリ「マチイロ」で、広報やまがたを気軽に読むことができます。

1 役立つ行政情報を見逃さない！

2 自分に合わせた情報が届く！

3 いろいろなまちの魅力をお届け！

▶ダウンロードはこちらから



App Store および Google play 両方からダウンロードできます。

園企画財政課 Tel.22-6825

市総合体育館 4月スポーツイベント

園総合体育館 Tel.22-6622

7日(日)	第1回岐阜県社会人クラブチーム対抗バドミントン大会
10日(水)	第36回岐阜県レディースバドミントン大会春季大会
13日(土)	スタートの会 (たかとみスポーツクラブ)
14日(日)	第52回連盟杯たかとみバレー大会
20日(土)	清流の国ジュニアアスリート育成プロジェクト開始式・測定会
20日(土)	全日本レディース都道府県対抗選考会(バドミントン)
21日(日)	第17回障害者スポーツ大会「清流スポーツ大会」バレーボール競技
28日(日)	第45回ふれあいソフトバレーボール
29日(祝)	合同入団式及び運動適正テスト(スポーツ少年団)

夜間休館日 4月21日(日)

花咲きホールからのお知らせ

TEL 36-2323

FAX 36-2777

チケット近日発売!

和太鼓「舞太鼓あすか組」公演

～世界を鼓舞する圧巻の太鼓エンターテイメント～

- ▶公演日 6月29日(土) 13時30分開場 14時開演
 - ▶場所 花咲きホール
 - ▶出演 舞太鼓あすか組
 - ▶主催 市教育委員会
 - ▶入場料 一般2,000円 高校生以下1,000円 全自由席 未就学児入場可
- ※売り切れの際はご了承ください。

- ▶チケット取扱場所
花咲きホール、会計課、高富・美山中央公民館
- ▶チケット取扱時間
開館時間 9時～17時(閉館・休館日を除く)

花咲きホール・古田紹欽記念館 4月休館日のお知らせ

1日(月)、8日(月)、15日(月)、22日(月)、
29日(月・祝)、30日(火・休)



古田紹欽記念館からの お知らせ

☎TEL 36-1023

古田紹欽記念館は今年、開館16年目を迎えます。これを機に、郷土の先人・古田紹欽氏の生い立ちや人柄に改めてスポットを当て、1年を通して紹介します。

〈先人の足跡〜古田紹欽〜〉
第一回 「謹一少年と父」



古田紹欽(本名 謹一)は、明治44(1911)年に父 古田徳次郎、母 みのとの長男として山県市(旧伊自良村)大森に生まれました。徳次郎は、息子が謹直な一人前の男に育ってほしいとの願いをこめて、「謹一」と名付けました。

謹一が生まれた当時、古田家は自転車店と理髪店を営んでいました。徳次郎は、教育が一般的ではなかったこの時代に珍しく、読み書きができた人でした。また子煩悩で、謹一を自転車の荷台に乗せて出掛け、読書もしていました。一方でお酒をとっても好み、外出先で飲んだから、いつものように自転車に荷台に乗せていたところ、転倒してしまい、謹一が荷台から放り出されたこともあったといえます。

子どもたちの良き父親であった徳次郎ですが、謹一が6歳のころ、酒好きも要因して36歳で亡くなりました。

亡くなる直前の夜中、徳次郎は子どもたちの顔が見たいと言いましたが、幼い謹一は寝入ってしまった、起こしても起きなかったそうです。結局、顔を見ることなく亡くなってしまいました。

紹欽さんはのちに、「父が亡くなった」36という年には自分にも恐ろしく思ったが、その年を越えたときくらい安堵感(あんど)をもったことはない」と語っています。(5月号へ続く)

参照 古田紹欽 著「幾山河 我が禅仏教のへの道」

図書館からのお知らせ

☎TEL 36-3339

図書館上映会

シアターセットで子ども向けDVD無料上映会を行います。

▼日時 4月28日(日) 14時
アニメ「おじゃる丸 銀河がマロを呼んでいる」(54分)

雑誌市を開催します

図書館で貸し出していた平成29年1月号から12月号の雑誌を無料で配布します。なくなり次第終了。

▼期間 4月20日(土)～5月6日(月・振休)

▼場所 図書館本館、高富中央公民館図書室、みやまジョイフル倶楽部図書室

※連休中の開館日は、それぞれの場所異なりますので、詳しくは問い合わせください。